



中央区立明石小学校の保存を望む会

http://www.justmystage.com/home/akashi_hozon/index.html

中央区立明石小学校は80余年の歴史を持つ価値ある建築物です。中央区の建替え計画に対し、明石小の卒業生と、近隣住民、建築家が協力してこの校舎を守るための活動をしています。

再考していただくなら、今しかない！

解体がはじまってからでは遅い！

1人でも多くご賛同下さる方を募り、明石小学校を解体ではなく保存再生させていただき、呼びかけていきたいと思っております。ご協力よろしくお願いたします。

○要望書と署名を提出しています

校舎を解体せずに保存し再生(リノベーション)することを要望して署名活動を行っています。中央区に対し「明石小学校校舎建て替え再考に関する要望書」を2010年1月14日に298名、2月22日に753名、3月29日に797名の署名とともに提出しています。署名は継続しており、合計2,000名を越えています。(2010年4月現在)ホームページをご参照下さい。

○明石小学校写真展を開催しました

2月10日~2月14日 つきじTASSギャラリー

(2月13日には復興小座談会を開催)

2月25日~3月3日 銀座・奥野ビル

3月19日~3月25日 カトリック築地教会

○NHKニュースで放送され、新聞各紙や専門誌に掲載されました

NHK 首都圏ニュース 2月12日

NHK 首都圏ネットワーク 3月24日

東京新聞都市版 9年11月25日,10年2月2・28日

読売新聞都民版 2月13・28日

産経新聞東京版 2月17日

朝日小学生新聞 9年11月18日,10年2月27日,3月25・26・27日

THE NIKKEI MAGAZINE 2010年3月号

CONFORT 2010年4月号

明石小学校について

○復興小学校の一つです

明石小学校は復興小学校の一つで、1926年(大正15年)に建てられました。復興小学校は、関東大震災(1923年)の復興事業として建てられたものです。東京に117校建てられましたが、現在19校しか残っていません。そのうち10校が今も小学校として使われており、東京都中央区には7校が集中しています。それらの中でも、明石小学校は復興初期の校舎として、貴重な建築です。

○旧居留地の明石町にあります

明石小学校は、明治時代に外国人居留地であった明石町の中にあります。明石小学校は、震災後に建てられた、聖路加国際病院の礼拝堂(1933年)、カトリック築地教会(1927年)と隣り合って、歴史を伝える都市景観を形成しています。

○歴史的・文化的に価値ある貴重な建築です

2月3日には日本建築学会関東支部から中央区に対して「東京都中央区に現存する復興小学校7校舎保存要望書」が提出されました。4月27日には日本建築家協会から「明石小学校を始めとする「復興小学校」校舎の保存・活用に関する要望書」が提出されました。「文化財」としての価値が認められています。

○現校舎の特徴

復興小学校は耐震性を重視し、生徒の安全や健康に配慮し良好な教育環境を実現するという共通の設計思想のもとにつくられました。

・耐震性に問題ありません。(中央区のホームページに掲載されています)

・3階建てで、4つの階段と廊下にはゆとりがあり、避難しやすくなっています。

・片廊下で、窓が大きく、自然の採光や通風が十分にとれます。

・接地性が高く、屋上も遊び場として活かされ、生徒がのびのびと過ごせる環境です。

・校庭をコの字型に囲んで、守られた外部空間をつくりだしています。

・円形の柱型やカーブを描くパラペットの張り出しなど、曲面やアーチの窓が印象的な建築です。表現主義的な外観は、当時の日本では極めて斬新なデザインでした。

○中央区による建替え計画(改築計画)

2010年9月より現校舎を解体し、その後、新校舎を建設する予定です。

保存再生について

校舎を大規模に改修し保存再生すれば、新築同様の性能をもたせることができます。必要に応じて増築も考えられます。

保存再生の事例



港区立高輪台小学校：1935年竣工、2005年大規模改修。校舎を保存再生し、校庭の地下に体育館を増築



求道学舎(写真：堀内広治)

1926年竣工、2005年仏教の学生寮を大規模改修により、コーポラティブマンションとして保存再生。2008年日本建築学会賞



国際文化会館：1955年竣工、2005年大規模改修による保存再生。2006年登録有形文化財、2007年日本建築学会賞・グッドデザイン賞

